

特集：私の教育システム情報学マップ：問いの体系化に向けて

Learner Experience の視点からの 教育システム情報学

山元 翔^{*,**}

Information and Systems in Education from the Viewpoint of Learner Experience

Sho YAMAMOTO^{*,**}

This paper is described about information and systems in education from the viewpoint of learner experience which is the author's interest. The Japanese Society for Information and Systems in Education (JSiSE) has been around for nearly 50 years, and many of its findings have been published in academic journals. However, it is also a huge interdisciplinary research field that contains various knowledge related to education and computers, and its systematization has not been sufficiently. The author is a researcher in the field of learning engineering, with a particular interest in the realization of useful learner experiences. From such a standpoint, I would like to discuss the viewpoint for understanding the field of Information and Systems in Education, using some examples of research related to this field, to help systematize the field.

キーワード：学習工学，Learner Experience，教育システム情報学，体系化

1. まえがき

教育システム情報学会（JSiSE）学会誌の巻頭言にて、柏原会長から本学会の問いの集約化と体系化についての言及がなされた⁽¹⁾。それに引き続き、編集委員会を中心として、投稿される論文の問いを著者に執筆いただき、採録論文ハイライトとして学会誌に掲載する試みが継続されている。

科学技術の多くの分野は、萌芽期、体系化期、成熟期の過程を経るといわれる。これに照らし合わせて考えると、本学会は、CAI学会として設立され、1995年に名称変更となってから、50周年を目前に控えている。教育におけるシステムと情報を取り扱う広大な学際分野ではあるが、本解説特集は、学会として体系化期に進もうとする試みであると捉えた。そして、そ

の際重要となるのは、さまざまな体系化のための視点であると筆者は考えた。そこで本稿では、教育システム情報学の体系化について、これまで学習工学の立場からこの分野に関わってきた一研究者としての視点から、意見を述べさせていただく。

2. 教育システム情報学についての考察

ここでは、筆者の視点の紹介として学習工学に基づく Learning Experience について述べ、教育システム情報学をその視点から考察する。

2.1 学習工学に基づく Learner Experience

学習工学では人の思考を情報の操作として捉え、その操作の結果として人の学びを定義する⁽²⁾。した

* 近畿大学工学部（Faculty of Engineering, Kindai University）

** 近畿大学情報学研究所（Cyber Informatics Research Institute, Kindai University）